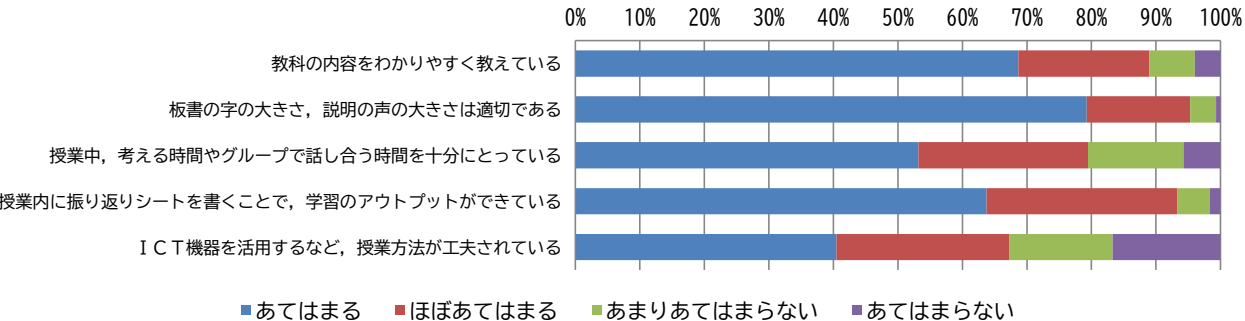


令和6年度 1学期 生徒授業評価アンケート

|     |    |      |                                                                                                  |
|-----|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教科名 | 数学 | 重点目標 | ICT等を活用した授業を展開し、話し合い活動などを通して生徒が主体的に取り組む授業を行う。単元ごとに振り返りやレポートでまとめるなどの作業を行うことで、学習内容をアウトプットできるようにする。 |
|-----|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|

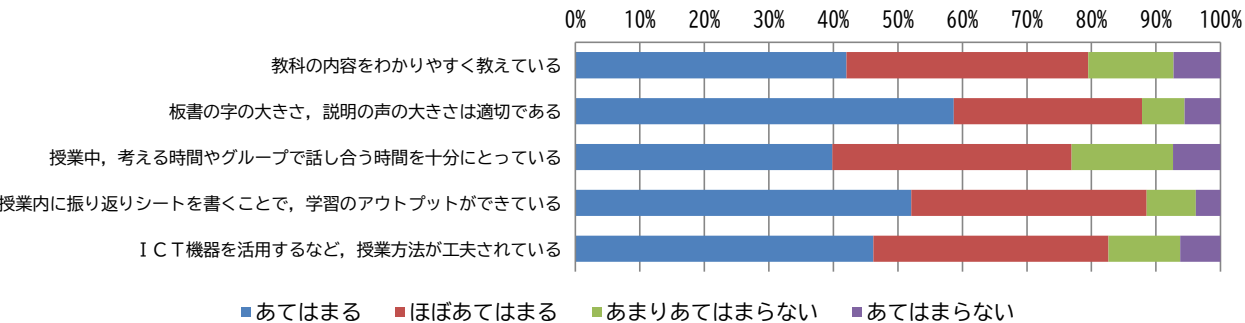
学習指導に関する現状と課題（1学期・生徒による授業評価アンケートより）

1年 数学



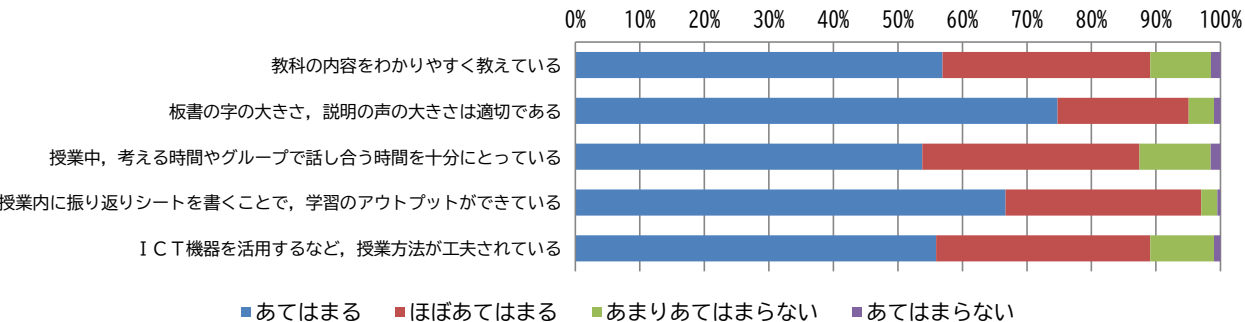
**分析** 約9割の生徒が数学の内容を概ねわかりやすいと評価している。これは、板書の字や説明の声の大きさが適切であり、かつ振り返りシートによる学習のアウトプットが大きく起因していると考えられる。  
それに対して、ICT機器を活用するなどの授業方法の工夫については3割の生徒が否定的な回答をしている。これは従来のミライシードによる計算練習から小テストプリントによる計算練習に変更したことが起因している。また、考察時間や話し合い活動の時間については、2割の生徒が否定的な回答をしていることから、2学期では問題数、問題内容と生徒の考察時間のバランスが重要となる。

2年 数学



**分析** どの項目も概ね8割の生徒が肯定的な意見となっている。振り返りシートへの取り組み、書字・説明の声の大きさなどが評価されている様である。  
一番の改善点は、授業中に考える時間や話し合う時間をとっているかどうかという項目で、2割強の生徒が否定的な評価をしている。一方的な講義形式にならないよう、担当する教員全員で共通理解をして取り組みたい。

3年 数学



**分析** 約90%の生徒が授業の分かりやすさを感じ、約95%の生徒が板書の字の大きさ、説明の声の大きさが適切であると答えている。このことは、授業をする教員の指導法が適切であることの証左である。また、教科の特性上、自ら課題に取り組むことが多いので、グループ活動や話し合う活動は他教科と比べて多くはないはずだが、授業の工夫によりアンケートでは90%弱もそれらの時間を十分にとっていると回答している。振り返りシートによる学習のアウトプットは、約95%の生徒が「あてはまる」、また「ほぼあてはまる」と回答しており、3年間を通じた授業での振り返りにより、生徒が振り返りシートを十分に活用していることが伺える。